



福祉亭

20年のあゆみ



あいさつ 20年の時

「福祉亭」を創出する母体・多摩市高齢者社会参加拡大事業運営協議会は、2001年4月スタートしています。

専門部会と位置づけられ、福祉亭を構想した市民たちが、

誕生に際して、2022年の今もなお福祉亭が存在すると思ひ描いて、構想していたかと問われれば、誰もそんな未来を市民の手で担うとは、想像していなかったでしょう。20年の時は、はるかな歩みでした。

発足当時私たちの眼前にあったのは、「世界最速で高齢化する街」、「オールドタウン」、「鉄の扉で閉ざされた心の扉」、さらに「救急車が走り回る街」と表現された多摩ニュータウンの街、永山団地でした。ボランティアさんの孤独死も経験した20年の歩みです。

力のないままに歩んだこの営みで地域のみなさんの心の扉は開かれたでしょうか？ 多くのかたに助けられ、たくさんのご利用者と出会う日々でした。そして、今も、それが続いています。

発足当時「福祉亭の三姉妹」と言われていた一人があるとき、福祉亭の日々を「福祉亭の奇跡」と、つぶやきました。素人集団が、恐れることなく『2007年問題』『2010年問題』という地域課題の解決を目指して構想した日々の姿があるからです。「奇跡」は、そのまま福祉亭の「軌跡」でもあります。

「コミュニティ再生」を目指した20年を振り返り、今、福祉亭が何を獲得でき、何に対して光となり、そして、その歩みを止めることなく未来の地平を目指しているか、それをみなさんと共に確認し、さらに前に進む力を頂くべくこの冊子をお手元にお届けいたします。

蝸牛の歩みですが、一步ずつ進めてまいります。この先、『2025年問題』、その先には『2040年問題』という遙かな高みが目の前にそびえる今日この頃です。（寺田 美恵子）

2022年12月



多摩市市制施行50周年表彰

2022年7月23日、パルテノン多摩で市制施行50周年記念式典が開かれた。多摩市はニュータウン開発により全国から新しい人たちが集住し、多摩村は一挙に多摩市に変貌。そして50年の歳月が過ぎた。新しい街を支えてきた市民団体、企業、学校、事業所は50年の歳月、さまざまな葛藤や苦難、あるいは喜びや成長など、それぞれに多様な歩みをつづけてきた。

多摩市はこうした市民の、そして企業や各種団体の活動によって今日の15万都市としての品格を備えるに至っている。50周年を記念して469の団体に感謝状が贈られ、福祉亭もその一部に加えられた。

これもボランティアさんたちのお力があったので受賞である。共にこれを励みとして喜びたい。（事務局）



多摩市市制施行50周年感謝状



「ひろがれ、ひろがれ、笑顔の輪」、これが福祉亭の夢

地域の仲間とつながり、ふらりと立ち寄れる、 みんなのたまり場

少子高齢化、2025年問題、おひとりさま、8050問題……と、ニュータウンを抱える地域はつながりを求める課題と向き合っています。福祉亭は、地域に住まうみなさんに交流の場を提供することで、住民の絆づくりのお手伝いをしてきました。暮らしやすいまちづくりと地域福祉に役立つ活動が目標です。日頃の何気ない関わりから、地域でともに暮らすみなさんが支え合う輪を作れたらと願っています。

福祉亭は、毎日お昼に定食を提供しています。野菜たっぷりの家庭料理は、健康をささえる“食”です。みなさん一緒に召し上がったりお茶したりすることで、話がはずみ、お互いに顔の見える関係が少しずつ広がっています。外出困難な方へお弁当の配達も可能な範囲で実施しています。



日替わり定食



寄贈 作：山田 みちよさん

調理や配膳、接客、配達、そして食材の調達といった業務は、すべて地域のボランティアさんに支えられています。地域の主婦、定年後の男性、職場体験の中学生、夏休みボランティア体験者などがそのメンバーです。地域のみなさんにできることをご参加いただけたら嬉しいです。

みんなの福祉亭

高齢者の居場所づくりは『地域づくりの実験の場、冒険の場』との想いで福祉亭に関わり20年。人間、長く生きていれば幸福な時も、辛く悲しく苦勞の多い時もある。それでもここに来たら、気分よく過ごすことができる空間をつくりたい、感じてもらいたいとの想いで関わってきた。

「たいしたことはできなくても、何か人のお役に立ちたい」という気持ちは、福祉亭を訪れる人、関わっている人たちは多分に持っている。それが一人ひとりの生活のリズムや、やりがい、生きがいに繋がり、現在の福祉亭をつくっているのではないかしら。

それぞれが持ち味を活かしながら、色々な役割を担うことができる、そんな仲間をいたい。ここで出会いが生まれ、縁が生まれ、そして友情を育んでいる、凄くないか！

そんな凄いいことを生み出す活動を“継続”していくことが最大の目標。継続の力ぎは、訪れる人たちに福祉亭を好きになってもらうこと、大事な所だと何かあったら頼れる所だと思ってもらうこと。

様々な世代の考え方や時代の変化に対応しつつ、あと何年かみんなでも実験と冒険を繰り返しながら、次のあなたへ“福祉亭”というバトンを渡していきたい！（中村 由美子）



ご指導いただいている方々

居場所としての福祉亭は、各種イベントによって支えられています。ガイドや演者、相談者としてご指導いただいている方々には謝意でいっぱいです。

2021年1月からコロナ感染防止のためイベントを全面中止としました。



恒例イベント

唱歌（2006年10月～、いきいき事業）①

ガイド 新井 こずえさん

手芸クラブ（2013年3月～）②

ガイド 永井 みどりさん

歌ごえ（2013年3月～）③

ガイド 岡 牧子さん

お楽しみカラオケ（2003年5月～）

ガイド 宮野 松雄さん、小森 百香さん

健康麻雀（2003年7月～）④



寝床寄席（2006年3月～2014年5月）

演者 多摩落語 寝床の会

落語午後の一席（2016年4月～）⑤

演者 花見亭 一平さん、ひよろ松さん、馬子亭 い生さん

算数サロン（2006年10月～2015年10月、いきいき事業）

ガイド 榊 裕さん

漢字サロン（2011年5月～、いきいき事業）

ガイド 榊 裕さん



健康

出張指圧（2004年10月～2018年12月）

ガイド 上村 幸敬さん

健康フラダンス（2005年9月～2017年11月、いきいき事業）

ガイド カランジツト 裕子さん

介護予防体操（2014年3月～）⑥

ガイド 八田 昌子さん

お試し体験マッサージ（2017年6月～）

ガイド 小林 幹典さん

ハンドマッサージ（2014年1月～）

ガイド げんき手（乗川 明美さん、他）

手話サークル（2017年10月～）

ガイド クローバー



お悩み相談

よろず相談（2003年7月～2013年7月）

包括ミニ講座（2013年8月～）

相談者 中部地域包括支援センター

山田会長のよろず相談（2008年5月～2010年12月）

相談者 山田 喜一さん

行政書士近藤さんの相談（2008年5月～）

相談者 近藤 浩さん

山川牧師の心の相談（2008年6月～2018年6月）

相談者 山川 暁さん

民生委員山口さんの相談（2011年8月～2012年7月）

相談者 山口 洋三さん

木庭さんのよろず相談（2019年7月～）

相談者 木庭 憲治さん

長瀬さんのパソコンお悩み相談（2016年7月～）

相談者 長瀬 敏雄さん

栴田先生のPCお困り相談（2018年8月～）

相談者 栴田 喜代司さん



親交

囲碁・将棋（2003年5月～、当初は囲碁のみ）⑦

アダプト虹の会（2005年6月～）

佐藤 博子さん、西村 弘子さん、茅野 まさ江さん、

木村 公子さん、川瀬 さつきさん

ケーキでお茶しましょ！（2008年7月～）

プリンでお茶しましょ（2009年8月～2018年3月）

サンド倶楽部（サンド会、2012年2月～）



ご利用者のエピソード



「木曜会」のみなさん

●堀澤 勝さん

多摩在住29年、公益社団法人シルバー人材センター団地清掃10年、御年73歳。何年か前の就業中、昼休みでのNHK-TV放送番組で「福祉亭」を知りました。それ以来、週6日、日替わり昼定食（大盛り、お替わりあり）（ワン・コイン500円）おかずメインの他に3品目以上を頂いております。現在、天変地異（主に気候変動）の直接／間接の影響、パンデミック、戦争（原爆・原発）・テロによる物価高騰にも拘わらず、（ワン・コイン500円）を維持されていることについて、御礼を申し上げます。また永山4丁目コミュニティセンターの中心を担い、「いきいき新聞」は月1回発行、220号を突破し更新中。子ども食堂も月1回以上開き、超高齢化社会／格差社会問題に抵抗しながら活躍されていることは、頭が下がります。人生100年。10年後、20年後にまたお目に掛ることを願っております。

●松原 友子さん

まちづくり系の地域活動を行っている関係で、福祉亭さんとは15年ほど前からの付き合いです。福祉亭さんならではの地域の貴重な情報やご意見をお聞きしたり、ひやりハット調査などもご一緒させていただきました。また、永山南公園をフィールドとするアダプト団体（永山南公園きりんの会）の拠点としてもお世話になっています。落合在住ですが、永山に来た時は昼食はもちろん、用事の後にコーヒーとSweetsでほっと一息つける大切な場所です。



外テーブルには子どもたちも溜まる

●荒川 秀孝さん

福祉亭の活動として永山フェスティバルでジャガバターを、宮野さんと大声を出して永山駅前を売り歩いたのを思い出します。最近永山フェスティバルは販売する店もなく、なんとなくさびしい限りです。また、以前みたいのにぎやかなフェスティバルになるよう願っています。

●安西 文江さん

もう20年?! 前の10年は最愛の夫と2人で、後の10年は1人で、傷心のまま先ず向かったのが福祉亭でした。美味しいご飯と、味噌汁、1人では不可能な沢山の種類の野菜が入った定食を、佐藤愛子さんと食べました。佐藤愛子さんは、私の理想の女性でした。96才で鬼籍の人になってしまいましたが、今の私の中に生きています。その目標に向かいながら、定食を食べて元気になっていく私が居ます。

福祉亭の理事の皆さん、ボランティアの皆さん、出会った皆さん、私は難聴で何かとお世話をかけると思いますが、今後ともよろしく願います。

●中村 信子さん

福祉亭20周年おめでとうございます。私は8年位前、サークル仲間に連れられ福祉亭でコーヒーを飲み、その後ときどき利用させてもらっていました。2年半前に畑を借りて野菜を育てるようになり、お昼を利用させていただくことが増えました。無くてはならない存在です。いつも有難うございます。

●橋本 正雄さん

福祉亭との出会いは、2017年頃永山商店街を歩いていたら、「早春賦」の歌声が聞こえてきたのです。こずえ先生の唱歌の時間でした。その歌声に惹かれて、外テーブルに一人で座っていると、亭内から出て来たお世話役の鳥羽さんが「どうぞ、中に入ってください」と誘ってくれたのです。それから毎週、こずえ先生、まき子先生の歌のときに、参加し始めました。間もなく「ロマンスの会」も始まり、もともと「唇に歌を」と戦後を過ごしてきたこともあって、本当に楽しみつつ参加してきました。歌の後のコーヒーや食事にも気に入りました。

福祉亭が、ボランティアで運営していることを知って、雨が降ろうが、風が吹こうが、ボランティアさんの心を汲んで通っています。

お世話になっているボラさんたち

福祉亭の運営はすべてボランティアさんの温かい手によって支えられています。
ここに、支えてくださった皆さまを紹介させていただきます（2013年～2022年6月）。
書き切れなかった皆さまには、またの機会に御礼を申し上げます（敬称略、50音順）。



石原 孝子さん



伊東 佑文さん



井上 富子さん



尾澤 優さん

あ

阿知和 和彦
天野 佐登子
荒川 朝美
荒川 友美
荒川 秀孝
安西 文江
五十里 八千代
石川 ひとみ
石原 孝子
磯部 まゆみ
市川 美枝子
伊東 佑文
井上 富子
岩永 恵治
薄井 由美
内布 すみ子
梅津 たか子
榎本 和子
大越 正子
大城 幸子
太田 景子
大谷 愛子
大西 郁子
大西 千春
大野 みな子
岡田 米子
尾澤 優



門澤 嬉子さん



市川 美枝子さん



岡田 米子さん

週2日福祉亭でボランティア、
あとの2日は麻雀、1日は体操、
と週休2日。休みは日なかゴロゴロ。
これが私の健康よ。

か

加藤 洋子
門澤 嬉子
金沢 一夫
金山 崎子
川口 綾子
川瀬 さつき
北林 利子
木村 公子
木村 鈴子
窪田 匡子
古賀 みち子
小谷 尚子
後藤 昭治
後藤 文江
小林 洋子
近藤 久子
子ども食堂



川瀬 さつきさん



木村 公子さん



小林 洋子さん

さ

齋藤 泰正
佐々木 美代子
笹治 晴子
杉崎 幸子
杉原 直子
鈴木 ツヤ子
須藤 芳之
関 喜代治



齋藤 泰正さん



私の地域活動体験記

私が永山の団地に入居したのは昭和55年(1980)。生活者として足を下したのは平成9年(1997)。長きにわたるサラリーマン生活から永山で生活者となった。今年で25年をかぞえる。もっとも公団を卒業して4、5年はアフター・サラリーマンとして生活者の足入れ準備を公民館の指導のもと、地域の学習にいそしんだ。この間、地域のまち歩きや、バリアマップづくり、そして議員活動の傍聴からウオッチング活動など、主にテーマコミュニティの活動に手をそめてきた。

しかし、これらは地域に根差したものではない。趣味活動のたぐいと同等レベルの活動である。福祉亭に出入りしたのは今から20年ほど前。亭の活動目標はコミュニティの再生だった。しかし、再生には程遠い現実がある。高齢者の居場所づくりという最低限の役割にあまじっている。ニュータウンという全国各地を出身地とする住民はコミュニティを形成する素地を持ち合わせず、永山団地自治会の組織率は50%程度。団地の管理組合もその運営に苦勞している。

昨年の秋だったか、瓜生小の先生からのお声がけで出前授業をすることに。多摩ニュータウンづくりのあらましを5年生のクラスにお話しをした。私が8時に家を出て亭に向かう歩専道で、S君に出会うと「おはよう、いってらっしゃい」の挨拶をかわす。小生もようやくして地域に足を下ろしたという実感が湧いてきたのである。(元山 隆)



田村 佳子さん

た

高阪 史明
高橋 和生
竹内 真幸
竹内 裕子
田所 秀子
田村 佳子



高橋 和生さん

民生委員になると同時に福祉亭のボランティアを始めました。お年寄りが多かったので活動に自信が出ました。



矢合 妙子さん



茅野 まさ江さん

茅野 まさ江
千葉 咲子
張 学博
張 一焯
出浦 栄津子
富田 素子



千葉 咲子さん

早借 洋一
早川 一胤
針田 明
広岡 幸枝
藤井 尚子
藤木 遵子
藤田 玲子
古川 健一
細淵 香澄
本田 道子



藤田 玲子さん

な

中尾 修
中里 加寿子
中島 ミス
中村 英子
中村 哲也
永井 みどり
成田 泰代
西村 弘子
西村 由利
野澤 正次
野尻 千晶
乗川 明美



中村 哲也さん



西村 由利さん

ま

真板 久美子
前野 祥吾
又木 僚子
松永 健太郎
松村 茂里
松村 トミ子
三上 喜代加
水森 久美子
皆川 義明
宮崎 兆子
宮野 秋子
宮野 松雄
目黒 寿史
メメテミン エスカル
百瀬 寿美



吉田 重子さん

や

矢合 妙子
山川 暁
山崎 偉久子
山下 京華
山下 裕子
山本 節子
吉田 和子
吉田 重子
山田 喜一
山田 裕四

は

橋本 あや
長谷川 スミ
波津 さとこ
八田 昌子



西村 弘子さん



八田 昌子さん

わ

若杉 冴香
若人塾



山本 節子さん



ボランティアさんの活動のべ人数は年間2,000人を越える(1日平均7~8人)。年々増加傾向だったが、コロナ禍で活動日時が減り、これに伴ってのべ人数も減少。

福祉亭…20周年おめでとうございます。福祉亭との出会いは2003年頃と記憶しております。長い間には種々な事がありましたが、いま振り返りますと、あっという間に過ぎたように感じております。「ボランティアとは自分も楽しむこと」、これが長く続く秘訣だったのではないのでしょうか！

何よりも心身ともに健康であったこと。そして支えてくださった皆さまにも感謝しております。長引くコロナウイルスの影響により臨時休業になった時期もありました。解除されてからはまた賑わいが戻って来ましたが……。まだまだ安心はできません。一日も早く日常に戻って欲しいと願うばかりです。いつまでも地域で支え合い、気軽に集い話し合える居場所……福祉亭であってほしいです。これからも少しでも皆さんに喜んでいただけますように頑張っていきたいと思えます。

いきいき新聞でご活躍の仲間たち

福祉亭の月刊誌「いきいき新聞」にご寄稿いただいた仲間です。地域のみなさんに話題を提供し、交流の一助として貢献していただいています。ここでは2013年以降にご寄稿のみなさんを紹介します。

センターだより

寄稿者 多摩市中部地域包括支援センターのみなさん（2003年7月号～）

イラスト

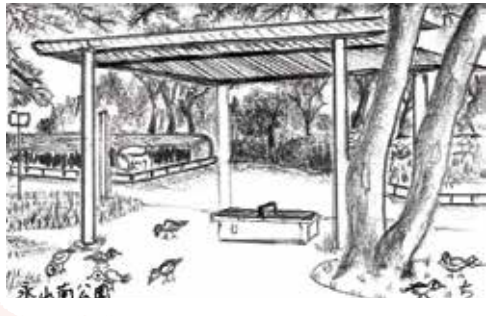
寄稿者 大越 正子（うさぎ）さん（2004年～）
茅野 まさ江さん（2017年4月号～）
荒川 朝美さん（2022年11月号～）



いきいき新聞2022年8月号

エッセイ

寄稿者 湊 保弘さん「随筆」（～2014年9月号）
山川 暁さん「福祉亭からの眺め」（2015年1月号～2018年4月号）
N-キリコさん「暗転」（2003年～2018年6月号）
柳原 幹治さん「鍼灸のはなし」（2004年9月号～）
鈴木 富太郎さん「随筆」（～2015年10月号）
大淵 修一さん「著書抜粋」（2015年11月号～2016年2月号）
澤 美都さん「音楽小話」（2016年3月号～2020年3月号）
高橋 和生さん「随想」（2020年2月号～2022年12月号）
榮子さん「随想」（2022年8月号）



イラスト・茅野 まさ江さん

つばやき・案内

寄稿者 呆呆さん（2018年3月号）
馬将さん（2018年1月号）
永井さん（2020年3月号）

詩句

寄稿者 浜崎 登志子さん
（2018年7月号～）



イラスト・茅野 まさ江さん



イラスト・大越 正子（うさぎ）さん

地域の交流紙「いきいき新聞」

いきいき新聞の編集を始めてから早くも3年が過ぎた。未だに編集ミスが多く、福祉亭利用者様から、間違い探しにはもってこいの新聞、と“お褒め”の言葉を頂いている。

そんななか読者から、素敵な詩や俳句を毎月心待ちしている、などとお声がけしていただいている。また、随想の作者を紹介してほしいと頼まれたりしたことも。あるとき、“柳原先生”の記事に質問をいただいたがお答えのしようも無く、“かんじ鍼灸院”を受診するようにお勧めしたことがあった。

僅か300部の発行数だが、諸先輩たちが20年の長きにわたって一度も休刊することなく築いてきた、地域の交流紙としての確かな地位を毀損することが無いよう、自助努力をし、編集ミスを失くし、作者の想い、心を間違いなく読者に届くよう、かつ読みやすい紙面づくりに心掛けたい。

福祉亭の20年誌が次の30年誌につながるよう、いきいき新聞をもって側面から手助けできれば幸いです。（池田 篤治）



いきいき新聞2018年9月号

俳句

寄稿者 まさこさん（～2018年3月号）
 バカルさん（2014年5月号～2014年6月号）
 笹尾 ハル子さん（2016年7月号）
 めい子さん（2018年10月号～2020年5月号）
 花野さん（2018年10月号～）
 量子さん（2018年10月号～）
 せいじさん（2018年12月号～2020年6月号）
 光子さん（2019年6月号～）
 松本 まりさん（2019年3月号）
 久子さん（2019年3月号～2019年11月号）
 まゆみさん（2019年3月号～2021年1月号）
 弘子さん（2019年7月号～2019年10月号）
 沙崙さん（2019年4月号～）
 紅葉さん（2019年2月号～2021年7月号）
 隆行さん（2019年7月号～2020年1月号）
 琴さん（2020年1月号～）
 太郎さん（2020年10月号～）
 智江子さん（2020年10月号）
 凡中さん（2021年11月号～）
 のばなさん（2021年2月号～）
 菊丸さん（2021年9月号～）
 弘志さん（2021年4月号～）
 白和さん（2022年7月号～）



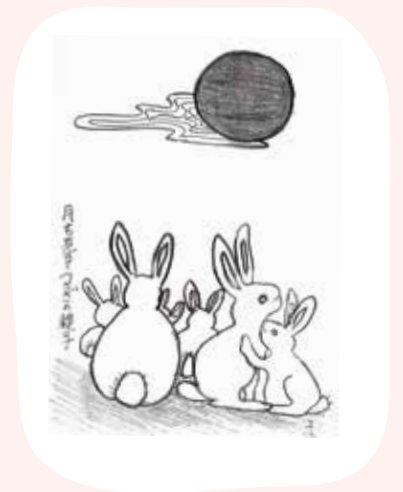
イラスト・大越 正子(うさぎ)さん

短歌

寄稿者 ばかりさん（～2014年5月号）
 まさこさん（～2018年3月号）
 日野 きくさん（～2018年7月号）
 山下 亨さん（2017年10月号）
 佐々木 富子さん（2017年11月号～2018年9月号）



イラスト・荒川 朝美さん



イラスト・大越 正子(うさぎ)さん

川柳

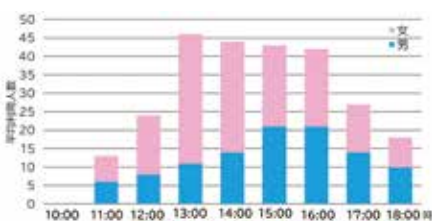
寄稿者 ばかりさん（～2014年10月号）
 黎明 翔さん（2014年10月号）
 畑中 権さん（2014年11月号）
 粹酔亭 迷楽（2017年10月号～2018年8月号）



イラスト・茅野 まさ江さん

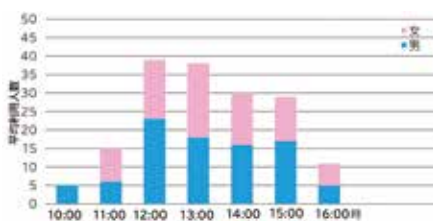
福祉亭利用比較研究（2010年、2022年）

本研究は多摩ニュータウンの初期入居地域である諏訪・永山地区に焦点をあて、そこで自立的に形成されている高齢者の支援スペース「福祉亭」を研究の対象としている。筆者は2021年10月から福祉亭の活動にボランティアとして週に3日程度参加し、イベント時は利用者として参加している。2021年10月～2022年10月にかけて一年間を通じて利用概要の調査を全ての営業日において実施した。その調査の結果は2010年研究の結果と比較し、大規模な団地における高齢者の居方、環境的な質のあり方を検討する。（メメティン エスカル）



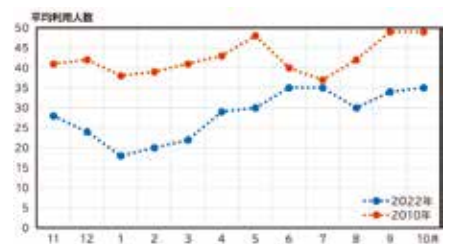
● 2010年週間利用調査

14時までは女性の利用が男性より多いが、15時以降は男性の比率が増大する。



● 2022年週間利用調査

2010年に比べ男性の利用が増えている。営業はコロナ禍のため16時まで。



● 年間利用調査

コロナ禍の2022年の利用は、2010年に比べ月平均15人以上減少している。

20年のあゆみ・年表

● 2001年～2014年

2001. 4.20 多摩市高齢者社会参加拡大事業運営協議会発足
2002. 2.4 委託（NPO市民福祉ネットワーク多摩）による福祉亭オープン
2003. 4.1 福祉亭体制での開店
8.5 NPO設立総会
10.12 グラン多摩フェスタ参加
2004. 1.1 NHKTV「笑顔が一番」放映
1.14 NPO認証申請
4.14 NHKTV 首都圏ネットワーク「NTの今」放映
6.27 NPO定期総会
9.25, 26 永山フェスティバル、福祉亭ワールド参加
2005. 2.16 TBSTV オンエア
4.14 NHKTV 首都圏ネットワーク放映
10.1 日本TV「ウェイクアップ」放映
10.29, 30 グラン多摩フェスタ出展
10.19～ 市民提案型まちづくり補助金により「まなふく」1～6回開催
2006. 2.25 地域ふれあいフォーラム参加
4.3 NHKTV ゆう時ネットワーク放映
9.8 平成18年度厚生労働白書記事掲載
2007. 1.26 江戸川区人生大学へ福祉亭活動をレク
3.14 NHKTV 首都圏ネットワーク放映「お年寄りを支える地域の人たち」
7.27 NHKTV 特報首都圏「絵手紙でコミュニティ再生」
2008. 2.14 TV大阪「ボランティア21」、「高齢化する団地」 放映
3.28 自主製作映画「わたしの街」試写会
11 都市住宅学会業績賞受賞
12.23 総理府+UR視察
2009. 2.25 参議院少子高齢化調査会参考人招致
4.26 NHKTV BS1ディベート「活かせるか高齢者の金銭資産」
6.13 TBSTV「サタずば」放映
7.8 NHKラジオ深夜便「こころの時代」
2010. 1.30～31 地域ふれあいフォーラム参加
3.9 TV朝日 スーパーモーニング「ニュータウン再生」
9.25～26 永山フェスタ出店参加
2011. 4.18 読売TV ウェークアップ「動き出したシニア」
6.11 東京市政調査会シンポ参加（消えた老人）
8.24 沖縄県今帰仁村役場視察
10.20 韓国視察団の視察
2012. 4.13 英国学者2名+法政大 保井先生視察
7.8 さわか財団フォーラム参加、ヴィータホール
8.23 エフサス「見守り絆システム」 被験者打合せ開始
10.19 余さんドクター取得お祝いの会
12.24 10周年記念誕生会、クリスマス会
2013. 4.2 都健康長寿医療センター来所
9.7～8 永山名店街秋まつり、フラガール オンステージ
9.26 狭山台団地視察+生活構造研
10.23 ウォールストリートジャーナル取材
2014. 3.3 オランダより視察、市+UR+自治会+福祉亭
5.15 木曜サロン 100回記念上野先生講演、ミニパーティー
5.22 スイス人記者視察、市+UR+自治会+包括+福祉亭
6.14 アフガニスタン視察団来所
10.9 ロンドン大学視察
11.6 厚労省視察、フォーラム21、都臼田氏来所



クリスマス会



中学生の職場体験



夏まつりの流しそうめん



虹の会の花壇



バリアフリー調査



ハロウィン

● 2015年～2022年

- 2015. 2.23 韓国KBS TV 取材
- 3.26 新地域支援事業、協議体準備会議
- 7.31 韓国KBS TV 取材
- 8.1 NHKTV まちかど取材
- 2016. 1.19 都住宅政策課来所、住政審資料づくり
- 4.23 湊さん倶楽部、遺稿集発刊
- 4.28 **ネコサポ開始**
- 7.16 韓国視察団（柳文相）、女子大教授来所
- 8.5 ドイツ雑誌取材
- 9.15 包括永山モデル WS 第5回
- 10.24 **中部地域包括支援センター開設**
- 11～12 NHKBS3、東京ディープ 取材・放映
- 12.7 英誌エコノミスト取材
- 2017. 1.30 地域ふれあいフォーラム、シンポジウム
- 1～2 NHKTV 首都圏 小さな旅 取材・放映
- 3.31 **「多摩市健幸都市宣言」制定**
- 9.8 韓国TV取材、首都大松本先生来所
- 10.26 さわやか福祉財団、生活支援コーディネーター研修視察
- 11.13 塩崎元厚労大臣視察
- 2018. 1.7 プロボノ 更新ホームページ完成引き渡し
- 2.1 **コミュニティセンター「大栗川・かるがも館」開館**
- 3.13 パルテノン多摩「ニュータウン誕生」、学芸員ヒアリング
- 8.8 台湾普東禅寺の福祉施設計画のため視察
- 2019. 4.27 JICA関連視察、タイの大学先生ほか
- 6.28 厚労省老健局視察
- 7.21 **東京2020 テストイベント自転車競技（ロード）開催**
- 10.4 都庁視察（総務省追加）
- 2020. 4.14～5.31 臨時休業（新型コロナ対応）
- 6.1～ 短縮営業10～15時喫茶のみ
- 6.11 定食再開
- 10.22 NBCP 試行実験、多摩市政策監来所
- 11.4 韓国TV 取材、NHKTV おはよう日本取材
- 11.18 都立大上野先生・松本先生+成瀬氏 韓国教育TV 随行
- 2021. 1.12～2.14 臨時休業（新型コロナ対応）
- 1～ バリアチェック、フィールド作業
- 2.15 暫定営業再開 15時まで
- 3.22 読売新聞取材
- 7.1 瓜生小5年生総合学習出前授業
- 7.23～9.5 **東京2020 オリンピック・パラリンピック開催**
- 9.2 さわやか福祉財団オンラインフォーラム
- 9.24 東京都政策局オンラインヒアリング
- 10.16 宇都宮大佐藤先生来所、エスカルさんドク論作成
- 11.1 **多摩市市制施行50周年**
- 11.13 さわやか福祉財団30周年フォーラム参加
- 2022. 1.7 英誌エコノミスト東京支局長取材
- 3.6 日曜カフェ開店
- 6.26 子ども食堂開店
- 7.23 多摩市市制50周年表彰
- 10.2～ 在宅医療連続講座「あなたは最期をどんなふうに過ごしたいですか？」
- 10.24 多摩テレビ「NOW特集」（エスカル氏、張一堀氏出演）放映



情報誌「おそばにおいて」



大学ゼミ講義



テレビのインタビュー



10年前、
小さかったのが.....



10年後、
微笑ましい家族に



10年前幼かった
子どもが.....



10年後（2022年）
立派な中学生になった



子ども食堂



子ども食堂参加の子どもからの
感謝状

いきいきまちづくり NPO法人 福祉亭



◆所在地

〒206-0025 東京都多摩市永山4-2-3-104
(永山名店街内)

◆連絡先

電話：042-374-3201
Eメール：fukusitei@bz01.plala.or.jp
ホームページ：http://www.fukushitei.org

◆営業時間：10時～18時（冬季は17時まで）

原則、日曜祝日、夏季休暇、年末年始は休業

◆月刊「いきいき新聞」を発行。日々の予定や皆さんの声を掲載しています。

◆アクセス

京王・小田急永山駅から徒歩20分。
または「きらぼし銀行前」バス停から徒歩5分。
駐車場は永山名店街にあり。お問い合わせください。

●理事長

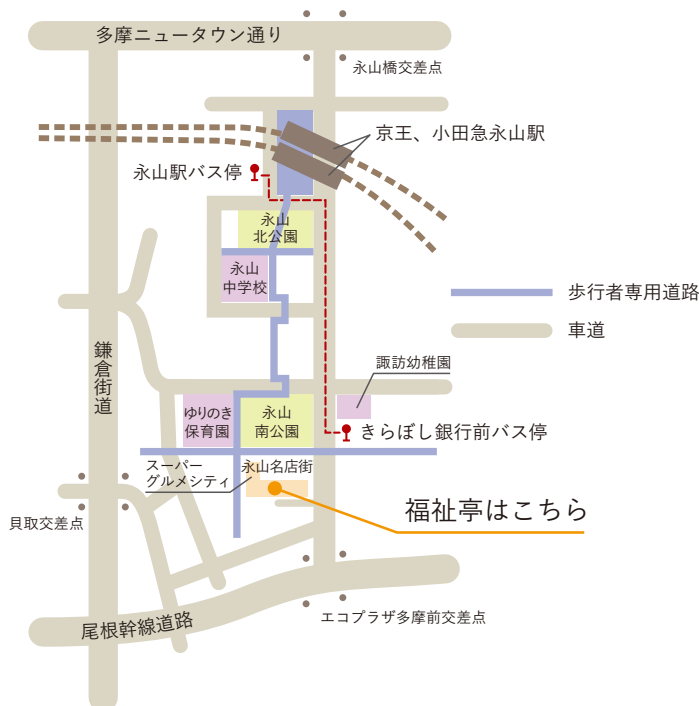
寺田 美恵子

●理事

近藤 浩、中村 由美子、歌川 榮子、竹内 瑞樹、
池田 篤治、村松 美花

●監事

平井 美千枝、庄子 元



NPO法人 福祉亭「20年のあゆみ」_____ 2022年12月発行

発行 NPO法人 福祉亭

制作 「20年のあゆみ」編集委員会

(寺田 美恵子、元山 隆、池田 篤治、メメテミン エスカル、庄子 元)

似顔絵 西田 房生

デザイン 田口 桃代 (MOGRAF)



あいさつ「20年の時」..... 1

「ひろがれ、ひろがれ、笑顔の輪」、
これが福祉亭の夢..... 2

ご指導いただいている方々..... 3

ご利用者のエピソード..... 4

お世話になっているボラさんたち..... 5

いきいき新聞でご活躍の仲間たち..... 7

20年のあゆみ・年表..... 9

